

「ハンバーガー店」市場、 2年連続で1兆円超え予想 単価アップで拡大続く

バーガー市場「一強」マクドナルドに、
「個性」で挑む中堅・新興チェーンで市場活性化

「ハンバーガー店」業界動向調査(2025年度見通し)



本件照会先

飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343(直通)
情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/02/08

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに
帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成して
おります。著作権法の範囲内でご利用いただき、
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025年度のハンバーガー店市場(事業者売上高ベース)は、2年連続で1兆円を超える見通しとなり、過去最高を更新する見込み。価格改定を背景に客単価が上昇する一方、マクドナルドのような「利便性重視型」と、グルメバーガーなど「高付加価値型」の二極化が進んだ。訪日客のニーズ拡大で「和牛」など独自の体験価値を訴求するバーガー店も増加し、多様な選択肢が市場拡大の原動力となった。

株式会社帝国データバンクは、全国の「ハンバーガー店」市場について調査・分析を行った。

[調査対象] ファストフードのうち「ハンバーガー店」業態を主力事業として展開する企業

[注1] 業績等のデータについては、2026年1月時点における帝国データバンクが保有する企業概要ファイル

(COSMOS2、約150万社収録)、企業信用調査報告書(CCR、約200万社収録)、外部情報などを基に集計した。

[注2] 事業者売上高(セグメント売上高、推定を含む)の合計。2025年度の数値は各社の予想値に基づく。

売上高は全店売上高(システムワイドセールス)が対象。FC運営(フランチャイジー、加盟店)企業は除く。

「ハンバーガー店」市場、1兆円超え 2025 年度も過去最高に

2025 年度(2025 年 4 月～2026 年 3 月期決算)におけるハンバーガー店の市場規模(事業者売上高ベース)は、1 兆 300 億円前後に達する見通しとなった。前年度からは約 2% 前後の増加となり、初めて市場全体で 1 兆円を超えた 2024 年度(1 兆 161 億円)に比べて伸び率(+7.0%)は縮小するものの、2 年連続で 1 兆円を上回り、過去最高を更新する。「デフレの象徴」だったハンバーガーが、ここに来て新たな黄金時代を迎えている。

店舗数の推移では、主なバーガーチェーン 10 社の合計で 5300 店となり、前年から 1.6% の増加となった。市場首位のマクドナルド(日本マクドナルド)、モスバーガー(モスフードサービス)に加え、近年急速に店舗を拡大するバーガーキングの台頭も背景に、店舗数は増加傾向で推移している。

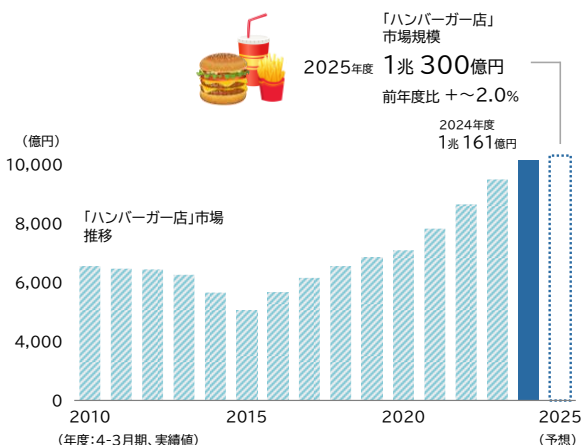
2024・25 年度のハンバーガー店市場は、100 円台から食べることができる「安価なファストフード」としての枠組みのなかで、原材料費・物流費・人件費の上昇という「三重苦」に直面し、戦略的な価格改定を余儀なくされた。こうしたなか、バーガー業態ではマクドナルドのような利便性を求める層と、モスバーガーやバーガーキング、グルメバーガー店のように「品質」や「体験」を求めるニーズの二極化が鮮明となった。

利便性の面では、マクドナルドのモバイルオーダー成功に追随し、主要各社がアプリによる販促を強化していることで、ピークタイムの販売機会ロス低減や、クーポンの配布などによる固定客の囲い込みが進んでいる。また、ブランド牛やこだわりの野菜、チーズなどの具材をのせた高級ハンバーガーの登場により、ハンバーガーが付加価値の高い「嗜好品」としての外食に進化したことが、近時の市場拡大の原動力となった。特に観光地に立地する中小バーガーチェーンでは、近年人気が高まるラーメン業態と同様に、ヴィーガン対応や代替肉の活用、「和牛バーガー」といった日本独自のメニューの認知度が高まり、訪日観光客向けの注文が増加したことで業績を伸ばすバーガー店もみられた。

2026 年度も引き続き、市場の大部分を占有するマクドナルドに対し、特徴的な販売戦略で顧客獲得を狙うバーガーキングやドムドムハンバーガー、新業態への転換で再起を図るゼツテリアなどのバーガーチェーンに加え、高価格帯など特化型メニューで訪日客の需要をつかむグルメバーガー店と、選択肢の広がりによる市場の活性化が注目されよう。人件費や光熱費、原材料費の高まりなどコスト高への対応が課題となるものの、バーガー人気が一過性のブームで終わることなく、日本の食文化を支えるコンテンツへと飛躍できるか期待がかかる。

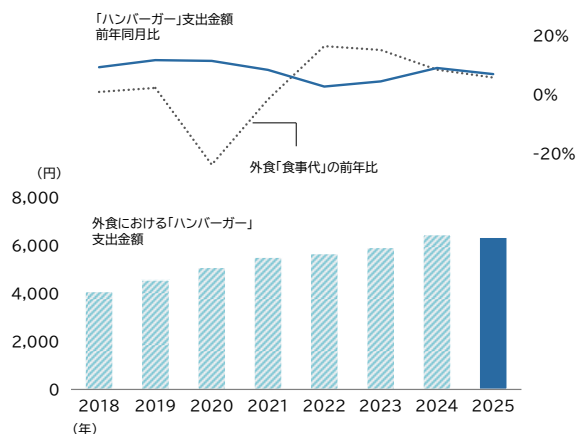
「ハンバーガー店」市場の動向

「ハンバーガー店」市場の推移
(2010 年度～)



[注] 「ハンバーガー事業」を主業とする事業者売上高(セグメント売上高、推定を含む)の合計。
2025年度の数値は各社の予想値に基づく。
売上高は全店売上高(システムワイドセールス)が対象。FC運営企業は除く。

ハンバーガーへの支出金額



[出所] 総務省統計局「家計調査(二人以上の世帯)」
[注] 2025年は11月までの累計、前年同期比